

歯科材料 5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科接着用レジンセメント JMDN コード：70836002

デントクラフト ユーセム

ミキシングチップは再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・本品の使用により感作又はアレルギー反応が起きる可能性があるため、本品又は本品に含まれる成分に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・ミキシングチップは再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状：
ペースト；シェードはクリア(Clear)、ユニバーサル(Universal)、オパーク(Opacity)の 3 種類。
2. 構造：ベース材及び促進材が別々に充填されている 2 筒式円筒形プラスチック製シリンジ。
3. 成分：バリウムガラス、メタクリル酸系モノマー、重合開始剤 他
4. 原理：促進材とベース材の混和・練和による化学重合反応と光照射による光重合反応により硬化するデュアルキュア型セメント材料である。

【使用目的又は効果】

歯科修復物、歯科修復材、歯科装置、口腔内硬組織のいずれかの相互間の接着に用いる。

【使用方法等】

1. 使用方法

(1) 使用準備

- ① 暫間修復物を除去した後、歯面上の残渣を取り除く。
注意：仮封材又は仮着材の残留物は接着力の低下の原因となるおそれがあるので、確実に取り除くこと。
- ② 通法に従って歯面を清掃し、十分に水洗を行った後、表面の水分をエアージェット又は綿球を用いて取り除く。
注意：水分を取り除く際、歯面を乾燥させ過ぎないこと。
- ③ 修復物の適合を確認する。

(2) 修復物の前処理

修復材料の使用説明書に従うこと。特に説明書で指定がない場合には、以下の方法を推奨する。

-コンボジット

- ① 40 μ m 以下の酸化アルミニウムを用いてコンボジット製修復物の被着面のサンドブラスト処理を行う。
- ② アルコールで表面を清掃し、エアージェットを用いて乾燥させる。
- ③ 修復材料の使用説明書に従って、適切なシランカップリング材を適用する。

-ガラスセラミックス（二ケイ酸リチウム、ポーセレン）

- ① ガラスセラミックス製修復物の被着面のエッチング処理を行う。
- ② 15 秒間十分に水洗し、エアージェットを用いて乾燥させる。
- ③ 修復材料の使用説明書に従って、適切なシランカップリング材を適用する。

-金属（Ti、PEM）、ジルコニア

- ① 40 μ m 以下の酸化アルミニウムを用いて修復物の被着面のサンドブラスト処理を行う。
- ② アルコールで表面を清掃し、エアージェットを用いて乾燥させる。

-ファイバーポスト

- ① ポスト表面をアルコールで清掃し、エアージェットを用いて乾燥させる。
- ② ファイバーポストの使用説明書に従って、適切なシランカップリング材を適用する。

(3) デントクラフト ユーセムの適用

- ① 適切なシェードを選択する。
- ② ペーストをミキシングパッド上に押し出し、スパチュラで混合する。
オートミックスタイプの場合は、ミキシングチップをシリンジ先端に装着する。
注意：最初に使用する際には、シリンジから少量のペーストを押し出し、2 種類のペーストが均等に出ることを確認すること。この試し出したペーストは使用せずに廃棄すること。
- ③ 練和したペーストを修復物の被着面全体に塗布、又は修復物内に充填する。
注意：練和物は、練和後 60 秒以内に使用すること。
- ④ 修復物を装着・圧接する。

(4) 余剰セメントの除去

処置部位に修復物を装着した後、ペーストが完全に硬化する前に、スクレーパー又はエキスプローラーを用いて余剰セメントを取り除く。
歯科重合用光照射器で軽く照射（約 1～5 秒間）した後、又は化学重合によりゲル状になった状態（練和開始後約 2 分後）で取り除くことができる。

注意：使用する光照射器の出力により、余剰セメントに必要な光照射時間は多少異なるので、ミキシングパッド上に少量のペーストを取り出して光照射を行い、予め硬化時間を確認すること。

注意：ゲル状態の時間は、口腔内/外又は環境温度に影響される。

(5) 硬化及び形成

- ① 余剰セメントの除去後、全ての表面を各 20 秒（ $\geq 400\text{mW}/\text{cm}^2$ ）照射し、最終硬化を行う。

- ②エキスポローラー等のインスツルメントを用いて余剰セメントを取り除く。
- ③仕上げ用のストリップを使用して隣接面の仕上げを行い、研磨用ディスク、カップ及びポイントを用いてマージンの最終仕上げを行う。
- ④咬合を確認する。

標準操作時間

練和時間 : 20 秒

練和開始時からの操作時間 (23℃) : 2 分

光照射時間 : 20 秒

硬化時間 (23℃) : 5 分以内 (※練和開始から)

※操作時間及び硬化時間は光環境や口腔内外の温度に影響される。

2. 使用方法に関する使用上の注意

- ①歯髄に著しく近接した部位に使用する場合には、あらかじめ歯髄保護を施すこと。
- ②修復物 (特にベニアの場合等) の維持力が不十分な症例での本品の使用は避けること。
- ③ユージノール及びその他重合を阻害する物質を含む製品との併用は避けること。仮着の際は、ユージノールを含まない仮着セメントを使用すること。
- ④本品は、使用する前に室温に戻してから使用すること。
- ⑤本品での処置中、前処理 (エッチング又はシランカップリング処理等) を施した歯面が水分、唾液、血液等の付着により汚染されないように注意すること。必要に応じて防湿処置 (ラバーダム等) を行うこと。
- ⑥本品は環境光 (直射日光やライト等の光) の影響を受け硬化が早まるので、使用後は直ちにシリンジのキャップを閉めること。また処置中も、作業視野内における強烈な光を避け、シリンジから取り出した材料は直ちに使用すること。
- ⑦使用する光重合器が 450nm の波長を含み、400mW/cm² 以上の光強度を有することを確認すること。また、照射口をできるだけ適用部位に近づけて使用すること。
- ⑧光重合器は機種により重合に必要な照射時間が異なる場合があるので、本品に使用する前には必ず光重合器の取扱説明書に従った使用方法での硬化時間を確認すること。また、光重合器の製造業者による取扱い上の注意に従って適切に使用すること。

【使用上の注意】

1. 使用注意

開封後はできるだけ速やかに使用すること。

2. 重要な基本的注意

- ①本品の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には直ちに使用を中止し、専門医の診察を受けさせること。
- ②本品又は本品に含まれる成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、手袋などをして直接本品に触れないようにすること。また、本品の使用により過敏症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、専門医の診察を受けること。

- ③本品又は練和物が口腔粘膜や皮膚に付着しないように注意すること。万一付着した場合には、直ちにアルコール綿等で拭いた後、多量の流水で洗浄すること。
- ④本品又は練和物が目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

(保管方法)

- ・本品は、冷蔵 (2~8℃) で保管すること。
- ・本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

(有効期間)

容器に記載されている使用期限までに使用すること。(使用期限は自己認証 [当社データ] による。)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 :  株式会社 **ヨシダ**
住 所 : 〒110-8507
東京都台東区上野 7-6-9

お問い合わせ先

器材部

電 話 番 号 : 03-3845-2931

F A X 番 号 : 03-3841-8204

製 造 元 : ペリコム社 (国名: 大韓民国)
Vericom Co., Ltd.